

Course number		U-LAS21 20001 SJ48					
Course title (and course title in English)		ドイツ語II A D2110 Intermediate German A		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer,MUKAI NAOKI	
Group	Languages		Field(Classification)				
Language of instruction	Japanese		Old group	Group C		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters	2024・First semester	
Days and periods	Tue.2		Target year	2nd year students or above		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
<p>ヘブライ語聖書(旧約聖書)の『エステル記』ドイツ語訳の講読を通じて、ヨーロッパ文化の基盤のひとつであるユダヤ教・キリスト教文化について学びながら、ドイツ語に習熟していきたいと考えます。</p> <p>底本として2017年版ルター聖書およびブーバー・ローゼンツヴァイク訳(1929)の『エステル記』を用い、二つの翻訳を比較しながら、多様な文化が入り混じる場としての近・現代ドイツ社会を体感することを目的としています。</p>							
[Course objectives]							
<p>この授業は、(1) 比較的平易なドイツ語の文章を読み解く技能を身に着ける一方で、(2)やや型にはまらないドイツ語の文章に接し、その含意やそれを支える文化的背景を推察していく視点を獲得することを目標とします。</p>							
[Course schedule and contents]							
<p>ヘブライ語聖書『エステル記』ドイツ語訳(Lutherbibel 2017, Buber-Rosenzweig 1929)の章ごとの講読を基本とします。第15回に和文独訳・独文和訳を中心とした筆記テストを行い、その後にフィードバックを行います。</p> <p>逐次、独作文・和文独訳の練習のため、邦訳聖書の抜粋の独訳を課します。この課題については、提示された和文を基礎にどのように独文を組み立てるかが主眼となりますので、既存の独訳の引き写しにならないよう、注意してください。</p> <p>講読の進度によって調整しますが、当面の回数ごとの授業計画は以下の通りです。</p> <p>第1回：ガイダンス・講読テキストの配布  第2回：『エステル記』概説の抜粋講読・基礎技能の確認  第3回～第7回：『エステル記』第1章～第5章の講読  第8回：中間まとめ(初級の授業で確認できていなかったこと、翻訳の傾向性等)  第9回～第13回：『エステル記』第6章～第10章の講読  第14回：最終まとめ(初級の授業で確認できていなかったこと、翻訳の傾向性等)  第15回：定期テスト  第16回：フィードバック( )</p> <p>フィードバックはオンラインで行う可能性もあります。</p>							
----- Continue to ドイツ語II A D2110(2) -----							

## ドイツ語II A D2110(2)

### [Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

### [Evaluation methods and policy]

発問応答、課題充足率等の平常点( )を重視します(60%)。  
これに定期試験の結果(40%)を加算し、成績評価基準に即して調整したものの( )を最終成績とします。

単なる出席は考課の対象となりません。一方で、5回以上の欠席について試験結果に関わらず「不可」とする場合があります。  
最終成績は相対評価によって算出します。試験成績がそのまま成績評価に組み込まれることはありません。

### [Textbooks]

Instructed during class

### [References, etc.]

( References, etc. )  
Introduced during class  
参考文献については必要部分を随時配布します。各自で入手していただく必要はありません。

【参考文献】Hanna Liss 『Tanach. Lehrbuch der jüdischen Bibel』(Winter) (2008)

### [Study outside of class (preparation and review)]

いずれかの邦訳等によって、『エステル記』の大まかなあらすじを把握しておいてください。  
読み上げによって、発音の確認もする予定です。  
講読における解説では、原則としてドイツ語特有の文法用語(1-4格、所有冠詞、接続法I式・II式等)を用います。解説において混乱することがないように、ドイツ語の文法用語に馴染んでおいてください。

ヘブライ語聖書(旧約聖書)には、邦訳も含めて数多くの訳が存在します。NIV, KJV(英)、LSG(仏)、CEI(伊)等、各人が参照可能な翻訳を参照し、その違和・齟齬について積極的に提示していただければ幸いです。

### [Other information (office hours, etc.)]

授業運営についての問い合わせは、メール対応を基本とします。メールアドレスについては、授業中にお知らせします。

定期試験においては原則として辞書・教科書・ノート等を持ち込み可とする予定ですが、外部通信可能な機器(スマートフォン、タブレット、PC等)の使用については、状況によって制限する場合があります。当該機器のみで辞書を使用している場合には、試験時に不利になるケースがありますので留意してください。